



カケハシ・プロジェクト（米国） 若手研究者招へい（日米協会）の記録

1. プログラム概要

【目的・概要】

「日米協会 VSJ（Visit & Study Japan Grant Program 2025）プログラム^{（注）}」は、一般社団法人日米協会（AJS）の研究助成事業と外務省の「カケハシ・プロジェクト」が連携して実施しているプログラムであり日本文化をより深く理解すること、日米両方で経験と知見を得ることから、日米間の人的交流を促進することを主な目的として実施されました。

注：「VSJ プログラム（Visit & Study Japan Grant Program 2025）」とは、一般社団法人日米協会（AJS）の100周年記念事業の一環として助成される4つのプログラムのうちの1つです。この助成事業は、米国の修士・博士課程に在籍する学生を日本に招き、日本及び米国間の関係に関する調査・研究を奨励し、研究の知的水準の向上に一層寄与することを目的としています。そのため、本選考に合格した参加者は、様々な分野で米国における日本理解を促進するために不可欠な存在となることが期待されています。カケハシ・プロジェクトでは、本プログラムの訪日支援、特に日本における航空運賃・一部宿泊費・通学費の支援を行います。

【参加者】米国の大学院生 合計1名

【訪問地】東京都、愛知県、岐阜県、大阪府、京都府、広島県、神奈川県、埼玉県

【日程】

■ 招へいプログラム：

11月30日（日曜日）	成田国際空港より入国
12月1日（月曜日）	【来日時オリエンテーション】（一般社団法人 日米協会）
12月2日（火曜日）	【視察】SHIBUYA TSUTAYA、PASSAGE by ALL REVIEWS SOLIDA、神保町ブックセンター
12月3日（水曜日）	東京都から愛知県へ移動 【視察】TSUTAYA BOOKSTORE 名鉄名古屋
12月4日（水曜日）	愛知県から岐阜県へ移動 【視察】みんなの森 ぎふメディアコスモス 岐阜県から愛知県へ移動
12月5日（金曜日）	【視察】TSUTAYA、愛知県図書館 愛知県から大阪府へ移動
12月6日（土曜日）	【視察】TSUTAYA EBISUBASHI 大阪府から京都府へ移動
12月7日（日曜日）	【視察】京都国際マンガミュージアム
12月8日（月曜日）	京都府から大阪府へ移動
12月9日（火曜日）	【視察】こども本の森 中之島、大阪府立中之島図書館

大阪府から広島県へ移動

12月10日（水曜日） 【視察】広島市立中央図書館、広島平和記念資料館

12月11日（木曜日） 【視察】広島 蔦屋書店

12月12日（金曜日） 【視察】広島市まんが図書館

12月13日（土曜日） 広島県から東京都へ移動

12月14日（日曜日） 【視察】代官山 蔦屋書店

12月15日（月曜日） 【視察】本と珈琲 梟書茶房

東京都から神奈川県へ移動

12月16日（火曜日） 【視察】海老名市立中央図書館

12月17日（水曜日） 東京都から埼玉県へ移動

【視察】角川武蔵野ミュージアム

12月18日（木曜日） 【視察】国立国会図書館 国際子ども図書館、北区立中央図書館

12月20日（土曜日） 報告会準備

12月21日（日曜日） 報告会準備

12月22日（月曜日） 【報告会】訪日成果・帰国後の活動計画（アクション・プラン）発表（一般社団法人 日米協会）

12月23日（火曜日） 成田国際空港より出発

2. 記録写真

招へいプログラム



12月2日【視察】神保町 古書店街



12月4日【視察】
みんなの森 ぎふメディアコスモス



12月7日【視察】京都国際マンガミュージアム



12月12日【視察】広島市まんが図書館

	
12月16日【視察】 海老名市立中央図書館	12月17日【視察】 角川武蔵野マンガミュージアム

3. 参加者の感想（抜粋）

11月30日から12月23日まで日本に滞在し、米国の公共図書館の未来を再構想するモデルを研究する目的で、各地の書店や図書館を訪問しました。

本プロジェクトは、日本のカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（CCC）が先駆的に実践してきた、民間資金による「書店と図書館の機能を融合させたハイブリッド型空間」という革新的な発想を出発点としています。これらの空間は、米国の図書館が現在直面している予算削減、人員不足、書籍禁止（Book Bans）といった課題に対する創造的な解決策となり得ると考え、今回の訪問調査を行いました。

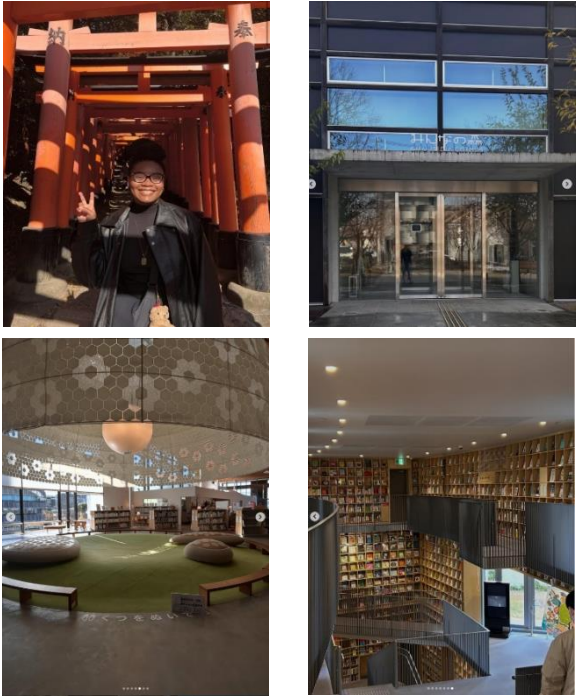
TSUTAYA や書店、図書館など日本各地の施設を訪問することで、米国の図書館・書籍サービスの向上に役立つ情報や、両国にとって多くの示唆を得ることができました。

日本の利用者の過ごし方として、意見箱や掲示板を使った「静かな参加」、2～4 時間に及ぶ長時間滞在、そして読書・学習スペースや通話スペースなど明確に区分されたゾーニングが特徴的でした。また、図書館や書店は、コンビニやカフェを併設するワンストップ型の形態が多く、デザイン性の高さや空間への敬意が強く感じられました。

日本から米国が学ぶ点としては、美的で没入感のある空間づくり、案内表示の強化、内向的な利用者も参加しやすい静かな空間や参加方法、公民連携を含む多様なパートナーシップの構築が挙げられます。一方、米国から日本が学べるのは、規則の緩和や雑音の許容、対話を促す仕組みづくりなど、コミュニティ形成の促進が挙げられます。これにより、さらなる「現代的」な図書館としての成長が期待できます。日本の図書館は美しい空間である一方、交流の不足からやや寂しさを感じる場面もありました。

今後は、利用者・司書・専門家への詳細なインタビュー、日本の図書館情報学教育の検討、図書館文化を形づくる社会的イメージの分析が必要だと考えています。また、今回は大都市中心の調査となったため、今都市立図書館（宮崎県）や武雄市図書館（佐賀県）など地方の施設も訪問したいと思っています。

4. 参加者の対外発信（抜粋）

	
2025 年 12 月 15 日（Instagram） 名古屋、岐阜、京都、大阪、旅の前半の視察先をまとめてお伝えします。	2025 年 12 月 16 日（Instagram） 日本滞在後半のまとめ — 大阪、広島、東京での視察や新幹線での移動について
	I'm grateful to share that I've officially completed my Visit and Study Japan (VSJ) grant with the America-Japan Society, Inc. (AJS) in Tokyo. On December 22, 2025, I had the opportunity to present my research at the AJS office as the 2025 VSJ awardee. My presentation, "Imagining Otherwise: Cross-Cultural Models for Inclusive Library Futures in Japan and the U.S.," shared findings from an intensive field study examining bookstores and libraries across the Kanto, Chubu, Kansai, and Chugoku regions. This project involved on-site visits and close observation of libraries' unique initiatives, community roles, and operational approaches, with the goal of understanding how Japanese models might inform more inclusive, community-centered library practices in the United States. Through these visits, I explored both current challenges and future possibilities, identifying insights that may be valuable to library professionals in both Japan and the U.S. I'm thankful to AJS for the platform to share this work and for supporting cross-cultural research that bridges public services, community spaces, and international exchange. The findings from this study will continue to be analyzed after my return to the U.S., and I hope to publish them soon. Deep thanks to the AJS team and everyone who made this experience possible. This grant has shaped how I imagine the future of libraries — and I'm excited to carry these insights forward. https://lnkd.in/eMf8gvMW Program detail The America-Japan Society, Inc. – The America-Japan Society, Inc. ajstokyo.org
2025 年 12 月 23 日（Instagram） 日本での研究と旅の締めくくりを祝って	2025 年 12 月 23 日（LinkedIn） 日本での研究を無事に終えることができました。AJS の皆さまには、温かいご支援に心より感謝申し上げます。次のステップに進むことを楽しみにしております。

5. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表（抜粋）

- ・ 研究成果を論文投稿及び学会発表用に提出します。

投稿先の候補：

- － 2026 年 アメリカ図書館協会 国際関係円卓会議プレカンファレンス
- － 図書館における実証研究サミット（ESiLS）
- － 国際図書館連盟（IFLA）ジャーナル
- ・ 帰国後、ノースカロライナ大学情報図書館学部にて研究成果を発表します。
- ・ 研究で得られた知見と写真を、総合試験及び最終博士論文に組み込みます。

実施団体：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）

協力機関：一般社団法人日米協会（AJS）